時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報

第三千六百七十一號　明治廿六年六月二日 金曜日　舊暦癸巳四月十八日（庚午）
日出午前四時二十七分　日入午後六時五十分
月出午後九時二十九分　月入午前五時五十四分
滿潮午前六時五十二分　午後七時九分
（西曆一千八百九十三年）

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し
一枚三錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓○一箇年前金六圓○月曜休刊
○時事新報社より直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ郵便料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を揭ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社の通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社宛向け發送あらんみとを願ふ

時事新報

官報

○勅令

朕東京學士會院規程中刪除ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十六年五月三十一日　文部大臣井上毅

勅令第五十九號

明治二十三年勅令第二百六十四號東京學士會院規程第八條ヲ削除ス

勅令第五十九號參照

勅令第二百六十四號東京學士會院規程（明治二十三年十月二十五日官報）抄錄

第五條　東京學士會院會員滿六十歲以上ノ者十名以内ヲ限リ特ニ各年金三百圓ヲ賜フコトアルヘシ

第八條　會長幹事ニハ手當トシテ各年金三百圓ヲ給與スヘシ但第五條ノ賜金アル者ハ之ヲ給與セス

○大藏省告示第十九號

明治二十六年七月一日ヨリ九月三十日マテ輸入從價稅品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左ノ通之ヲ定ム

但外國銀貨ト日本銀貨トノ比較ハ從前ノ通

明治二十六年六月一日　大藏大臣渡邊國武

外國貨幣日本銀貨比較表

金貨		日本銀貨（圓）
英吉利	一ポンド	七、三九一
獨逸	一マーク	三六二
北米合衆國	一ドルラル	一、五一六
佛蘭西	一フランク	二九三
瑞西	一フランク	二九三
白耳義	一フランク	二九三
伊太利	一リラ	二九三
丁抹	一クローン	四〇七
瑞典	一クローン	四〇七
諾威	一クローン	四〇七
和蘭	一ギルドル	六一一
西班牙	一リール	〇七六
葡萄牙	一ミルリー	一、六四一
土耳其	一ピアストル	〇六七

○遞信省告示第百五十七號

來ル本月十五日限リ大坂市東區大坂南久寶寺町郵便受取所ヲ廢ス

明治二十六年六月一日　遞信大臣伯爵黑田清隆

○遞信省告示第百五十八號

來ル本月十五日限リ大坂市東區南久寶寺町二丁目郵便貯金預所ヲ廢ス

明治二十六年六月一日　遞信大臣伯爵黑田清隆

○遞信省告示第百五十九號

來ル本月十五日限リ大坂市東區南久寶寺町三丁目郵便貯金預所ヲ廢ス

明治二十六年六月一日　遞信大臣伯爵黑田清隆

正誤

去月三十一日官報勅令第五十八號上諭文中酒精營業稅法ノ上ニ「樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ」ノ十字ヲ脫ス

明治二十六年六月一日　内閣書記官

雜報

○紡績會社の新設及增錘　昨年中紡績事業の一時非常の好況を極めしに際し俄に新設會社を起すもあり又已設會社中增錘擴張の設計に着手したるが當時の噂に增錘數八十萬と稱したれども今慥なる當業者に就て聞くに實際は全く下の如き增錘數なりしと云ふ

三井物產會社大坂支店より英國プラット會社へ注文

會社	錘	會社	錘
大坂紡績會社	二五、五三六	三重紡績會社	二〇、〇〇〇
鐘淵紡績會社	一〇、〇〇〇	東京紡績會社	一〇、〇〇〇
郡山紡績會社	三、〇〇〇	福山紡績會社	四、六〇八
倉敷紡績會社	五、五〇四	泉州紡績會社	四、八一六
山城紡績會社	一、一五二	棠崎紡績所	一、九二〇
金巾製織會社	六、三二八	平野紡績會社	一五、三六〇
攝津紡績會社	一五、三六〇	宇和紡績會社	二、〇六四
泉紡績會社	四、四七二	和歌山紡績會社	五、一六〇
堺紡績會社	五、三七六	岸和田紡績會社	一〇、三六八
尼崎紡績會社	一五、三六〇	大坂撚糸會社	四、六〇八
松山紡績會社	四、九九二	福島紡績會社	五、〇〇〇

計十八萬一千〇五十六錘

ルカス商會より英國ドブツンバーロー會社へ注文

會社	錘	會社	錘
朝日紡績會社	一五、〇〇〇	伊豫紡績會社	五、〇〇〇
天滿紡績會社	一五、〇〇〇		

計三萬五千錘

イリス商會より英國…
名古屋紡績會社
合計二十二萬一千〇…
巳上各會社增錘及…
注文せざるものは…
綿の八會社にして…
り又此頃迄到着し…
据付中に屬す可き…
千錘此他ルカスイ…
着のよしなり又此…
三十磅十六志にし…
四千三百九十七圓…
せし分二十八萬八…
今後海外に拂出す…
二厘なりと云ふ

成功せし…

去年七月下…
六吋の扁舟…
米國の東岸…
西洋四千哩…
蹴破して九…
葡牙のリス…
着し其名新…
に聞えたる…
ウス氏が孤…
態、近着の某…
えたるまゝ…
すと云爾

○な…

●獻書紀念展覧會…
探討せんと先頃本…
番地榎本館に寓居…
篆、隷、八分、楷、行…
杉皇太后宮太夫に…
に去る二十五日よ…
に供するみとを得…
議副本三幅を装…
會場は同氏の…
三四五の三日間…
劵二十錢にて當…
明清）朝鮮の古書…